

雑司が谷の歴史と文化を感じる「まち歩きガイドマップ」完成

～ 豊島区の印刷物で初めて 環境にやさしいストーンペーパーを使用 ～

「雑司が谷の歴史と文化を感じる まち歩きガイドマップ」を、豊島区が作成した(規格:A2 版、蛇腹折)。

平成 20 年 6 月 14 日に東京メトロ副都心線「雑司が谷」が開設。雑司が谷の街は、古き良き表情と新たな表情を混ぜ合わせながら変化し続けている。各商店街や坂道、小道、裏道、路地などの雑司が谷らしい景色は、多くのメディアにも取り上げられ、豊島区が誇る生活文化の資源ともなっている。

今回のマップ作成は、「雑司が谷・歴史と文化のまちづくり懇談会」のアクションプランのひとつ。雑司が谷の魅力をより具体的に理解してもらうためのマップを作成し、情報の発信を行なうことで、地域全体の回遊性を高め、まち歩きを PR することが目的だ。

懇談会内での「多くの歴史文化を有している地域であり、まち歩きに活用できるマップの作成は有効である」との地域から出た意見がマップ作成に繋がった。



マップには、鬼子母神堂、法明寺や大鳥神社、旧宣教師館、雑司ヶ谷霊園、そして「トキワ荘」から移り住んだ手塚治虫が創作活動を行なった「並木ハウス」、雑司が谷七福神などの名所の他、地名の由来や歳時記などが掲載されている。また、「子育ての街・雑司が谷」や「古地図を片手に歩く」などの 7 つの散策コースも紹介されている。

マップの素材は、本区の印刷物で初めて使用する環境に優しい「ストーンペーパー」。原料に木材チップやケナフなどを一切使用しないため、貴重な森林を伐採する必要がない。また、製造時に水を使用しないため、排水が全く出ず、「水質汚染」につながらないのも特長だ。また、防水性と耐久性を備えているため、まち歩きの際にも丈夫で持ち歩きやすい。

雑司が谷は区内でも比較的緑が多い地域で、法明寺境内ではハクビシンが生息しているほどだ。緑豊かなこの地域を、環境に優しいガイドマップを手に散策し、歴史や文化を感じてみては。

マップは、1 月 1 日から雑司が谷案内処で有償頒布される(1 部 100 円、5,000 部作成)。

※鬼子母神の「鬼」の字は、「ツノ」がつきません。

<p>背 景 補 足 事 項</p>	<p>※雑司が谷案内処(雑司が谷 3-19-5 午前 11 時～午後 4 時 木曜休館) 7 月に開設した雑司が谷地域の情報案内ステーション。来街者への情報提供や地元ゆかりの郷土玩具などの販売等を行なっている。7 月 31 日のオープン以来 11 月末までで来処者 15,000 人。28～31 日休館。新年は 1 月 1 日から開館(午前 10 時～午後 4 時)。 ※雑司が谷・歴史と文化のまちづくり懇談会(座長:豊島区長高野之夫) 雑司が谷らしさを大切にしたいこれからのまちづくりについて、地域から意見・提案をもらいながら協議を進める場として設置。町会・商店街・歴史文化まちづくり関係者、行政で構成されている。21 年度から、まちづくりの方向性、具体的なアクションプランについて検討を進めている。</p>	
<p>写 真 * 写真はメ ールで送り ます</p>	 <p>雑司が谷案内処の前で</p>	<p>まち歩きガイドマップ</p> 
<p>問 合 せ</p>	<p>区長室</p>	